



ともに生きる社会を ーあなたの夢を見つけようー

福祉に対する専門的知識・技術の学習を通して、様々な人々とともに生きる豊かな人間関係を育み、他人を思いやる心の醸成と、人間的な成長を目指します。

福祉科の4つの柱

- (1) 人格を育てるための高校教育
- (2) ノーマライゼーション等の考えや福祉マインドを広く学ぶ福祉教育
- (3) 介護のスペシャリストを目指した福祉専門教育
- (4) 社会福祉、地域社会のリーダーを目指したリーダー教育

●スペシャリストをめざします

福祉科は社会福祉の知識や技術を学び、介護実習（3年間で13週間）や社会人講師（看護師等）の授業を通して資格を取得し、将来、看護・医療・福祉分野で活躍する専門職をめざしています。

全国でもトップレベルを誇る「介護福祉士」国家試験の合格率、看護・医療・福祉・教育系への進学、希望者全員の就職など高い実績をあげています。

●介護福祉士国家試験

今年、第32回国家試験は福祉科3年生35名がチャレンジしました。そして合格率94%を達成しました。前年の第31回国家試験は、37名全員が合格しました。毎年、合格率90%以上の高い合格実績を誇っています。

☆自覚と責任ある介護の専門職養成、そして介護福祉士国家試験合格に向けて1年次からの計画的な学習、そして現場での実践

1年次は「**基礎基本の徹底**」を図ります。朝や放課後、再試験や補習を行うことで、全員の学習レベルを同じところまで引き上げていきます。

2年次は「**基礎基本の実践**」です。1年次に身につけた介護福祉の基礎基本を高齢者や障害者施設における現場実習などで実践し、知識や技術の定着を図ります。

3年次は「**創意・工夫**」です。1・2年次に学んだ基礎基本をもとに、自ら考え、考えたことを言語化し、報告会や発表会など（実習報告会・実技報告会・学年間における事前・事後指導会）を通して他者に分かりやすく丁寧に伝える力を育てます。

介護福祉士国家試験合格に向けては、3年の夏・冬に集中して行われる「国家試験対策」、9月～12月に月1回（計4回）業者模擬試験を実施しています。そして模擬試験結果を詳細に分析し、生徒一人ひとりに「きめ細かく・丁寧」な指導を行っています。また模擬試験の結果によっては、個別に補習等を行い、国家試験直前まで生徒へ対応しています。



●地域貢献も積極的に行っています

昨年10月に関東を襲った台風19号は川崎市に甚大な被害をもたらしました。川崎市内の施設でも、浸水被害がありました。福祉科では有志を募り、排水作業や片付け作業のお手伝いをさせていただきました。これからも「地域に愛される福祉科」として、積極的に様々な活動に取り組んでいきます。



●取得可能な資格

- (1) 全員が介護福祉士 国家試験受験資格を得ることができます。
- (2) 普通救命講習修了
- (3) 日本語ワープロ検定（全員が3級以上を取得します）
- (4) 社会福祉・介護福祉検定（**1年次** 4級、**2年次** 3級、**3年次** 2級・1級）

●卒業生の進路先

大学

日本社会事業大学 東洋大学 横浜創英大学 田園調布学園大学 淑徳大学 他

短大

川崎市立看護短期大学 帝京短期大学 他

専門学校（看護系）

神奈川県立よこはま看護専門学校 神奈川県立衛生看護専門学校 聖灯看護専門学校
横浜市病院協会看護専門学校 横浜中央看護専門学校 横浜未来看護専門学校
横浜実践看護専門学校 他

就職（介護職）

川崎市社会福祉事業団 社会福祉法人セイワ

☆特別養護老人ホーム

→大師の里、しゃんぐりら、池上長寿園、夢見ヶ崎、富士見プラザ、フレンド神木、
陽だまりの園、等々力 他

☆介護老人保健施設

→帝京大学老人保健センター、レストア川崎 他